

平成19年（'07）2/25

第54号

火事と救急は
局番なし119番

消防だより

発行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町1丁目21-6

吹田市消防本部内

電話 (06) 6193-0119 (代表)

平成18年度全国統一防火標語

『消さないで あなたの心の 注意の火』



列車脱線事故想定訓練

火災のない明るい吹田市を築きましょう

平成19年 年頭のご挨拶



吹田市防火連合会
会長 秀島教文

平成19年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から本会の事業運営につきまして、格別なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、神津和民の後任としてアサヒビール吹田工場の工場長に就任し、

吹田市防火連合会の会長を引き継がせていただきました秀島教文（ひでしま のりふみ）でございます。

もとより微力ではございますが、神津同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は、皇室に41年ぶりに男のお子様がお生まれになるといったおめでたいニュースやWBCで王ジャパンが優勝、トリノオリンピックで荒川選手が金メダルを獲得し、「イナバウアー」が流行語になるなど海外でのスポーツ選手の活躍がありましたが、その一方、隣国の核実験や原油価格の高騰、耐震偽装問題、いじめ自殺や飲酒運転が起因する悲劇が続くなど暗いニュースも相半ばいたしました。

経済界におきましては、いざなぎ景気を越えた長期景気拡大と言われながら実感はほど遠く、まだまだ楽観できるような状況ではありません。

災害に目を転じてみますと国の内外では依然として大きな災害が発生しております。

私たちは、こうした災害から多くのことを学び、対応も進み、自助・互助・公助などの分担意識も根付いてまいりました。

災害時には、誰もが被災者になり得ます。災害に備えるには、災害に対して各自が自立し、お互いに助け合う姿勢やお互いを思いやる気持ちが必要であり、人と人とのつながりを深め、地域、行政などとの交流が必要となってまいります。

本会は、こうした交流を念頭に置きながら、市民の皆様や事業所の方々の防火・防災意識のより一層の高揚を図ることを目的とし、活動を進めてまいりましたが、今後も防火・防災に関する各種行事に積極的に参加、協力するなど事業内容の充実を図り、地域の防災に役立つための活動を展開していく所存でございます。

最後になりましたが、市民の皆様をはじめ事業所、消防関係者の方々のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



吹田市消防本部
消防長 廣瀬 茂

輝かしい平成19年（2007年）の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から本市の消防行政全般にわたり深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、関係各位のご協力を頂きまして、長年の懸案でありました消防本部・西消防署合同庁舎が完成し、業務を開始することができました。

この庁舎は、大阪府下の消防庁舎では初めてとなる基礎免震構造を採用し、最新の高機能消防指令センター等を整備するなど消防防災の心強い活動拠点施設となっておりまして、旧消防本部の指令システムの老朽化や手狭になった西消防庁舎の問題などが一挙に解消され、火災・救急活動をはじめとしたあらゆる災害に今まで以上に迅速な対応が可能となりました。

今後とも適正な署所配置と庁舎整備につきましては、整備充実を図って参りたいと考えております。

さて、昨年の本市の災害状況を振り返りますと、特筆すべき災害は、発生いたしておりませんが、一昨年と比較して救急件数が16,122件と増加し、火災件数は68件と一昨年を大きく下回ったものの焼損面積、損害額、死傷者数についてはいずれも一昨年を上回ることとなりました。

今後、東南海・南海地震などの大規模地震の発生が危惧されており、また、高齢化社会の進展等に伴い救急救命処置範囲の拡大が求められる等消防に対する期待はますます大きくなっています。

消防本部といたしましては、こうした各種災害事案への対応はもちろんのこと、救急救命士の救命・救急技術の向上や年々増大する救急需要に対応するための体制整備、昨年から新築住宅に適用されております住宅用火災警報器の設置指導や消防法令違反の是正、地域ぐるみの放火防止活動の推進など、広範な消防行政の展開を図り、「安心・安全のまちづくり」の実現に努めてまいります。

結びに、本年が平穏な一年でありますよう祈念いたしますとともに、皆様方におかれましては、今後とも消防行政に益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆吹田市防火連合会交流会◆

平成 18 年 11 月 24 日（金）新大阪江坂東急インにおいて、吹田市防火連合会傘下の工場危険物、建設、公衆集合場の各協会と家庭防火クラブ連絡協議会の 4 団体等から 82 名が参加し、吹田市防火連合会交流会が盛大に開催されました。



神津（前）会長あいさつ

また、交流会に先立ち、平成 18 年 11 月 13 日（月）に公用開始された吹田市消防本部・西消防署合同庁舎の見学会が開催されました。

◆自衛消防隊員一日体験入校◆

平成 18 年 11 月 28 日（火）、大阪府立消防学校において吹田市防火連合会主催の自衛消防隊員一日体験入校が行われ、16 事業所から 41 名が参加しました。

参加隊員は、規律訓練、放水訓練、救急実技訓練、安全管理等の基礎的な消防教育訓練を受け、技術の習得及び防火意識の高揚が図られました。



ホース延長・放水訓練

◆吹田市防火連合会寄贈◆

吹田市防火連合会から消防本部・西消防署合同庁舎竣工記念として消防長室応接セット、西消防署長室応接セット、エアロバイク 3 台が寄贈され、平成 18 年 10 月 30 日（月）に新庁舎において神津（前）会長から廣瀬消防長に贈呈されました。



目録を贈呈した神津（前）会長（左）



寄贈された消防長室応接セット

◆火災予防街頭広報◆

吹田市建設業防火協会の会員 17 名による火災予防街頭広報が平成 18 年秋季全国火災予防運動期間中の平成 18 年 11 月 10 日（金）に北千里駅周辺で実施されました。



街頭広報を行う建設業防火協会



吹田市消防本部・西消防署合同庁舎



吹田市では、社会情勢の変化に伴い、複雑多様化・大規模化している災害に対応し、旧消防本部の指令システムの老朽化や手狭になった西消防庁舎などの諸問題を解消するため基礎免震構造を採用した新庁舎を建設し、平成 18 年 11 月 15 日から業務を開始しました。

新庁舎は、鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）地下 1 階地上 8 階建ての建物で、1,042.85 m²の敷地面積に建築面積 619.83 m²、延床面積 4,727.76 m²、高さ 35.54m（アンテナ最上部：45.50m）で建築され、阪神淡路大震災クラスの地震にも耐え、大規模災害時に防災拠点施設となるよう、大阪府下の消防本部では初めてとなる基礎免震構造を採用しました。

庁舎外観



フロア図

屋上	無線塔、自家発電機、緊急救助用スペースなど
8 階	放水訓練スペース、研修室など
7 階	消防本部事務室、消防団本部室など
6 階	消防指令センター、警防作戦室、指令調査課事務室など
5 階	屋内消防訓練室、トレーニング室など
4 階	西消防署事務室、備蓄倉庫、書庫など
3 階	消防隊・救急隊仮眠室など
2 階	資機材スペース
1 階	受付、消防車庫、出動準備室、救急隊消毒室など
地下 1 階	駐車場、受水槽ポンプ室など

高機能消防指令センター

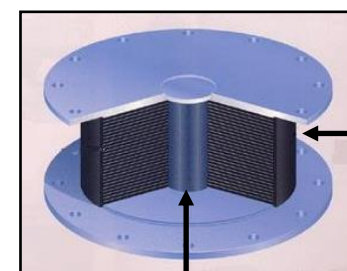
庁舎 6 階にある消防指令センターには最新鋭の消防指令システムを導入しました。

この消防指令システムは、最新のコンピューターと通信機器を駆使し、火災、救急などの 119 番通報の受信から災害地点の確認、GPS（衛星利用即位システム）を利用した災害地点直近車両への出動指令など、現場到着までの時間短縮は勿論のこと、災害出動隊に対して各種災害活動の支援情報を提供するなど、災害事案の覚知から終了まで一連の災害活動を自動化することができます。



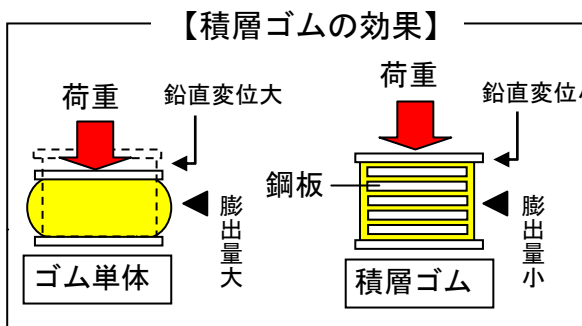
基礎免震構造

建物本体と基礎との間にプラグ入り積層ゴム型免震装置（LRB:Lead Rubber Bearing）を 10 基設置しています。
LRB は、荷重支持および振動絶縁機能としての積層ゴムとエネルギー吸収機能（ダンパー）としての鉛プラグを一体化した免震装置です。
大きな地震が発生すると、免震装置が変形し、地震のエネルギーを吸収することによって建物に加わる力を軽減します。



鉛プラグ
鉛プラグは地震以外の揺れ（暴風など）を抑えます。

内部鋼板＋ゴム
鋼板で補強されたゴム（積層ゴム）が建物をしっかり支えます。



所在地

〒564-0063 吹田市江坂町 1 丁目 21 番 6 号
(代表) TEL 06-6193-0119
FAX 06-6193-0100

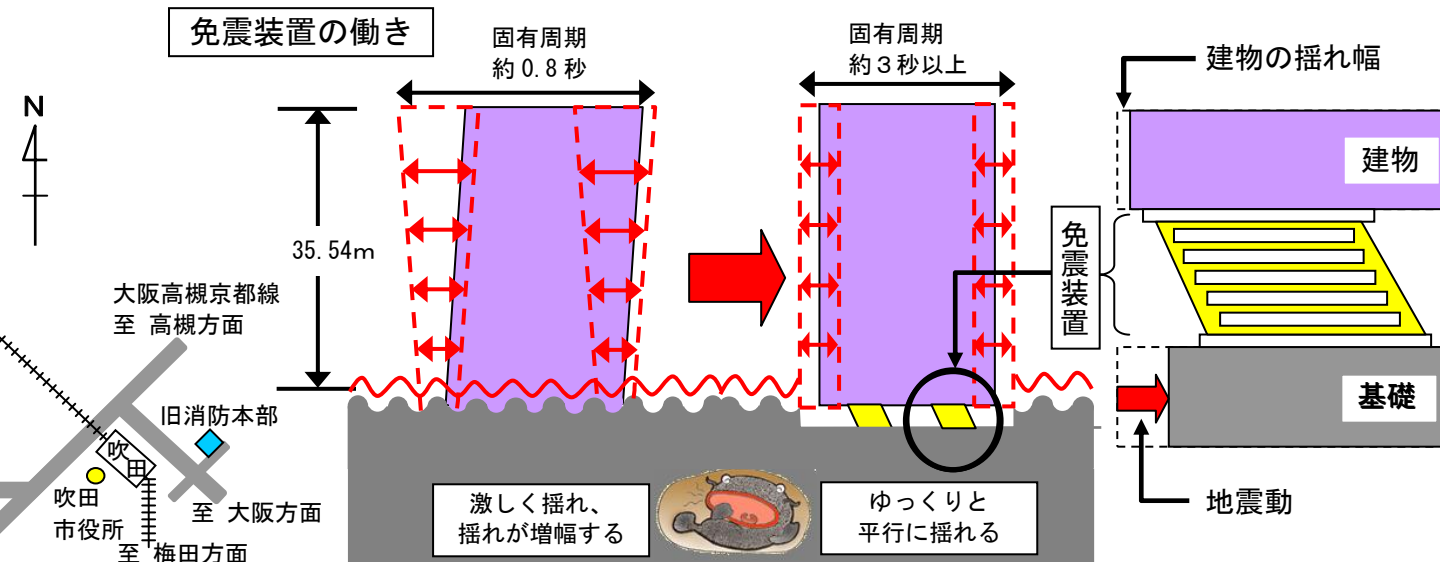
(ダイヤルイン)

総務予防室 総務課 TEL 06-6193-1115
FAX 06-6193-0101
(予防課、警備課兼用)
予防課 TEL 06-6193-1116
警防指令室 警備課 TEL 06-6193-1117
指令調査課 TEL 06-6193-0119
FAX 06-6193-0100
西消防署 TEL 06-6384-0151
FAX 06-6338-1985

案内地図



免震装置の働き





DAINIPPON
SUMITOMO
PHARMA

事業所訪問 大日本住友製薬(株)総合研究所

大日本住友製薬(株)は、人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献することを目指し、一昨年10月に旧大日本製薬と旧住友製薬が合併して発足いたしました。

「からだ・くらし・すこやかに」をコーポレートスローガンに掲げ、医療用医薬品事業を中核に、臨床検査薬、医療機器、動物用医薬品、食品添加物、工業薬品、その他化学製品の製造販売を行っております。

吹田市江の木町に立地する「総合研究所」は、旧大日本製薬の研究所として1971年に設立され、合併後の現在では医薬品の研究開発の1拠点として、世界で評価される先進的な創薬に取り組んでおります。

このような事業活動を継続する一方で、総合研究所では2004年5月にISO 14001の認証を取得し、全社の環境基本方針の下、総合研究所の環境方針を定め、環境負荷の改善を通じて企業としての社会的責任を果たすべく、環境保全と循環型社会形成に積極的に取り組んでおります。

2004年9月に竣工しました合成研究棟は、阪神淡路大震災を教訓に免震構造を採用し、排気・排水には最新の処理設備を導入して、合成研究で使用する多種類の化学物質を敷地外に排出しない設計としております。



総合研究所全景



ISO認証事業場を示すプレート



近隣住民にも開放される満開のソメイヨシノ

敷地内では緑地化を推進すると共に、吹田市の保護樹木に指定されたソメイヨシノの近隣住民への開放（お花見の時期）、迷惑駐車取締り活動・江坂駅周辺の清掃活動・神崎河畔のクリーンアップ活動などにも積極的に参画しており、今後も近隣住民や地域環境に配慮した研究活動を行ってまいります。

◆表彰◆

【市民表彰】

通報・初期消火

平成 18 年 9 月 29 日（金）に吹田市千里山東 2 丁目において発生した建物火災において通報、初期消火等迅速な活動を実施し、火災の拡大を防いだ功績。

吹田市千里山月が丘 筒井 久弥さん

吹田市千里山西 1 丁目 小林 正典さん

【救急活動】

救命処置

平成 18 年 8 月 29 日（火）に吹田市豊津町のカラオケ店で発生した救急事案において心肺停止患者に救急救命処置を実施し、心拍再開、自発呼吸を回復させた功績。

西消防署 第 1 警備 救急分隊

消防司令補 松本克己（現在は救急救助課勤務）

消防士 服部志郎

消防士 村上幸宏

◆平成 17 年秋の叙勲◆

元吹田市消防団副団長の小来田秀夫氏（写真）が、副団長として長年勤務に精励した功績により平成 18 年 11 月 6 日（月）に大阪府知事から瑞宝単光章を伝達されました。

同氏は、同年 11 月 8 日（水）東京都の日消ホールにおいて行われた総務省消防庁長官からの伝達式にも出席されました。



元吹田市消防団副団長の小来田氏

◆消防団フェスティバル◆

平成 18 年 10 月 22 日（日）に吹田市千里山西 1 丁目の千里寺で吹田市消防団千二分団が主催した消防団フェスティバルが開催されました。

このフェスティバルには、西消防署千里出張所も消防フェスティバルとして参加し、火災予防のパネル展示などを行いました。

フェスティバルには、多くの住民が集い、もちつきや写真撮影会などの各コーナーが賑わいをみせました。



消防団フェスティバルの様子

◆救助合同訓練◆

平成 18 年 10 月 8 日（日）に豊中市城山町の大阪府住宅供給公社服部緑地団地の解体現場において豊中市消防本部の主催で、大規模地震発生時における倒壊建物災害を想定した救助合同訓練が実施され、吹田市から救助隊員 5 名とポンプ車 1 台が参加しました。

この訓練には、豊中市、吹田市のほかに池田市、箕面市の消防本部も参加し、大規模地震発生時における救助技術の習得と向上および近隣消防本部救助隊の連携が図られました。



バスケット担架による救出活動を行う救助隊

◆新防火衣導入◆

吹田市消防本部が採用している火災現場用防火衣が平成18年度から年次的に更新されています。

新しい防火衣は、上下分離式（上着とズボン）で従来のものより下半身の防護が図られ、全身をカバーすることによる熱中症対策のため、長時間の火災現場では、上着の内側に保冷材を装着できる仕様となっています。また、これに合せて導入した編み上げのゴム長靴は、つま先や靴底に補強材が入っており、火災などの災害現場でより安全に行動できます。



新防火衣（前）



新防火衣（後）

◆平成19年吹田市消防出初式◆

吹田市消防出初式が、平成19年1月7日（日）の午前10時から神崎川右岸河川敷で実施されました。

雪まじりの雨が降り続くあいにくの荒天のなか行われた消防出初式には、消防職員・消防団員・自衛消防隊・家庭防火クラブ・幼年消防クラブ（若竹学園千里幼稚園、朝日幼稚園、徳永学院西吹田幼稚園、岡辻学園山手幼稚園）・自主消火組織（吹田東地区中ブロック自治会防火部、竹見台自治団体協議会、高野台防火部）及び関係者など912名が参加しました。



整列した参加隊員

◆列車脱線事故想定訓練◆

平成19年1月16日（火）に吹田市目俣町のJR西日本吹田工場で平成18年度大阪府地震災害対策訓練に伴う列車脱線事故想定訓練が実施されました。

この訓練には、吹田市消防本部、JR西日本、大阪府警察、陸上自衛隊、日本赤十字社、DMAT（災害派遣医療チーム）などが参加し、消防本部は、事故列車からの救出救助、現地指揮所の設置、トリアージ・エリア設定、救護テントの設営、負傷者の救急搬送などを行いました。また、この訓練で救出された重篤患者は、救急隊が臨時ヘリポートに搬送した後、大阪市消防局のヘリコプターで受け入れ先の大阪大学医学部附属病院へ搬送されました。



油圧式救助器具（スプレッダー）で進入路を設定する救助隊



応急救護所の活動状況

住宅用火災警報器等の不適切な訪問販売等にご注意ください！

- ・消防職員が住宅用火災警報器を販売することはありません！
- ・業者による点検の必要もありません。
- ・既存住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されるのは、吹田市では、平成23年6月からです。（新築住宅には、平成18年6月から義務化されています。）

お問い合わせ／南消防署（吹田市内本町1-23-14）

北消防署（吹田市藤白台1-1-50）

西消防署（吹田市江坂町1-21-6）

東消防署（吹田市尺谷5-15）

消防署のほうから来ました。
設置しないと罰金ですよ。
・・・ですよ。
・・・ですよ。



TEL：6317-0119）

TEL：6872-0766）

TEL：6384-0151）

TEL：6876-9119）